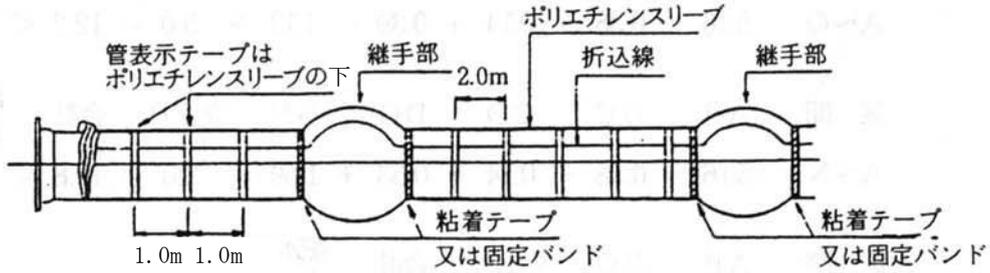


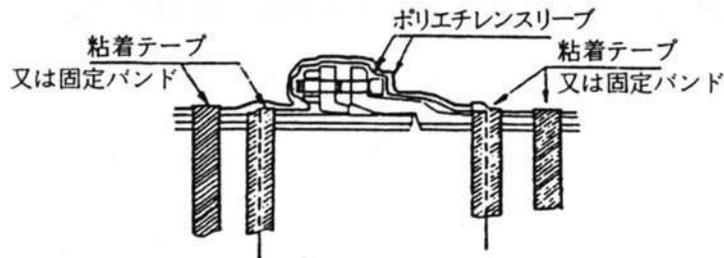
# 資 料

# 1. ポリエチレンスリーブ被覆要領

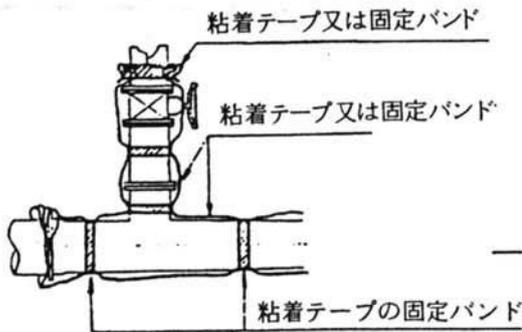
## ア. 直管部



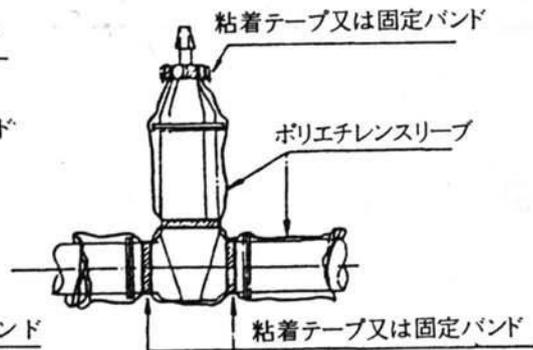
### 継手部詳細



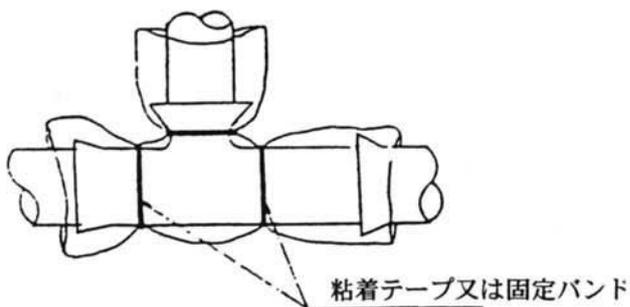
## イ. 消火栓部 (空気弁部)



## ウ. 仕切弁部



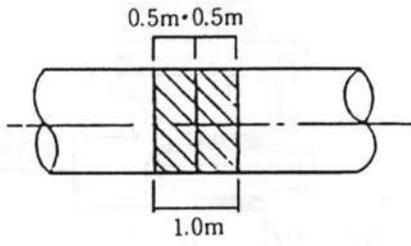
## エ. T字管部



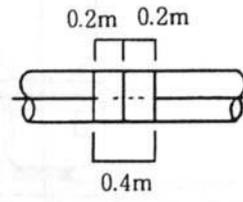
## オ. 分岐部 (サドル付分水栓)



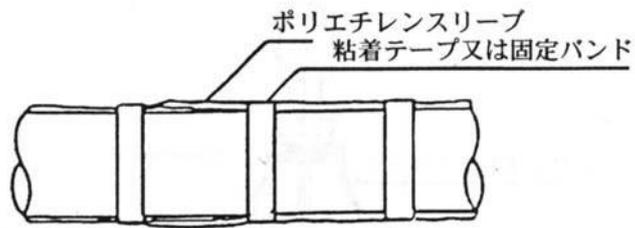
カ. 重ね代  $\phi 75$  mm以上

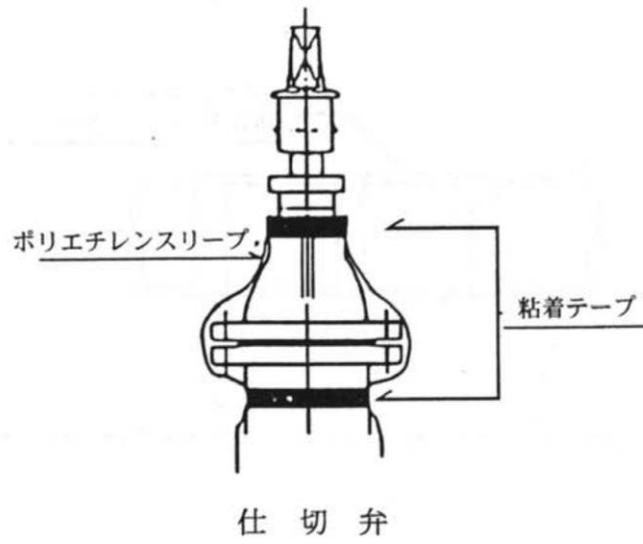
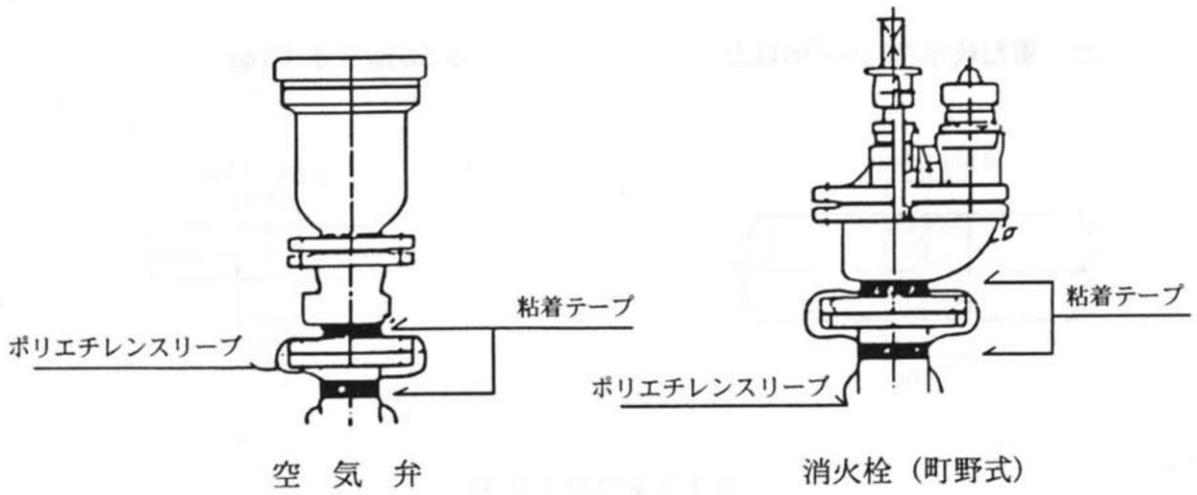


$\phi 50$  mm ~  $\phi 13$  mm



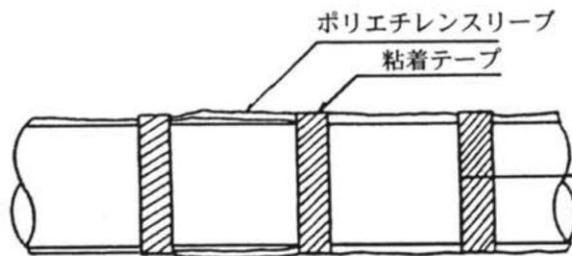
直部の重ね継手詳細





ポリエチレンスリーブ取付箇所詳細図

直部の重ね継手詳細



ポリエチレンスリーブの形状及び寸法

単位 mm

適用する管の 呼び径	実内径	折り径	厚さ	有効長
13 ~ 25	54	85	0.2	$\ell + 400$
40 ~ 50	95	150	"	"
75	223	350	"	5,000
100	258	405	"	"
150	312	490	"	6,000
200	363	570	"	"
250	420	660	"	"
300	481	755	"	7,000

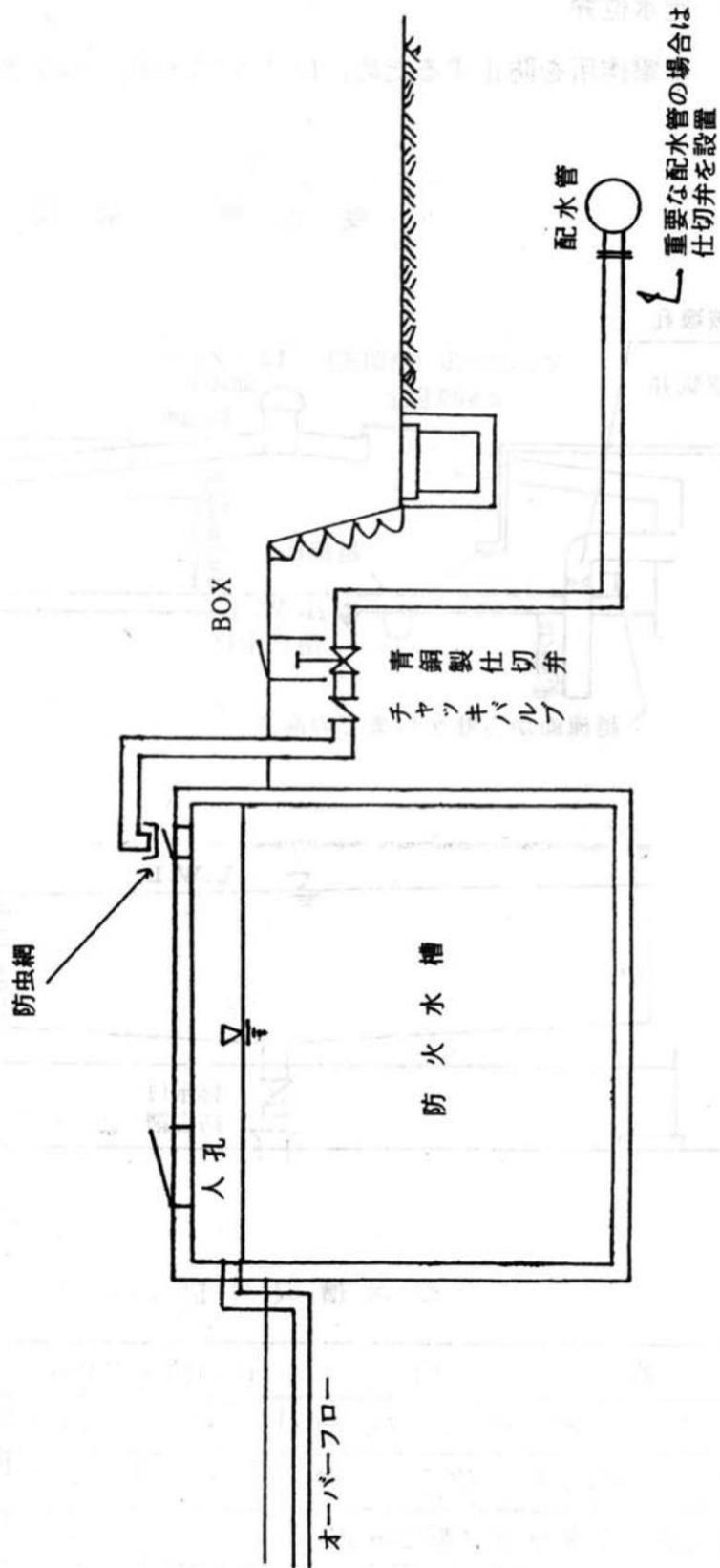
(注) (1) 折り径とは、円周長さの  $\frac{1}{2}$  の寸法である。

(2) 有効長とは、適用される管の有効長に + 1,000 mm 加えた。

(3) 上記の実内径及び折り径は J C P A 規格を基準としたもので、特殊な形状をした継手は別途考慮するものとする。

## 2. 防火水槽に給水する際の配管基準 (消防署管理のものに限る)

(地下式については市と協議すること)



### 3. 単位の変換

(1) 長さ

$$1 \text{ cm} = 10 \text{ mm}$$

$$1 \text{ m} = 100 \text{ cm} = 1,000 \text{ mm}$$

$$1 \text{ km} = 1,000 \text{ m}$$

(2) 面積

$$1 \text{ m}^2 = 10,000 \text{ cm}^2$$

$$1 \text{ km}^2 = 100 \text{ ha} = 10,000 \text{ a} = 1,000,000 \text{ m}^2$$

(3) 体積

$$1 \text{ l} = 1,000 \text{ cm}^3$$

$$1 \text{ m}^3 = 1,000 \text{ l}$$

(4) 重さ

$$1 \text{ kg} = 1,000 \text{ g}$$

$$1 \text{ t} = 1,000 \text{ kg}$$

(5) 時間

$$1 \text{ 日} = 24 \text{ hr} = 1,440 \text{ min} = 86,400 \text{ sec}$$

$$1 \text{ hr} = 60 \text{ min} = 3,600 \text{ sec}$$

(6) 速度

$$1 \text{ m/sec} = 1 \frac{1 \text{ m}}{1 \text{ sec}} = 1 \frac{1 \text{ m}}{\frac{1}{60} \text{ min}} = 60 \text{ m/min}$$

$$100 \text{ m/hr} = 100 \frac{1 \text{ m}}{1 \text{ hr}} = 100 \frac{1 \text{ m}}{60 \text{ min}} = 1.666 \text{ m/min}$$

$$100 \text{ m/min} = 100 \frac{1 \text{ m}}{1 \text{ min}} = 100 \frac{1 \text{ m}}{60 \text{ sec}} = 1.666 \text{ m/sec}$$

(7) 流量

$$1 \text{ m}^3/\text{sec} = 1 \frac{1 \text{ m}^3}{1 \text{ sec}} = 1 \frac{1,000 \text{ l}}{\frac{1}{60} \text{ min}} = 60,000 \text{ l/min}$$

$$10 \text{ l/min} = 10 \frac{1 \text{ l}}{1 \text{ min}} = 10 \frac{\frac{1}{1,000} \text{ m}^3}{\frac{1}{60} \text{ hr}} = 10 \times \frac{60}{1,000} \times \frac{1 \text{ m}^3}{1 \text{ hr}} = 0.6 \text{ m}^3/\text{hr}$$

(8) 水 圧

$$1 \text{ tf/m}^2 = 1 \frac{1 \text{ tf}}{1 \text{ m}^2} = 1 \frac{1,000 \text{ kgf}}{10,000 \text{ cm}^2} = 0.1 \text{ kgf/cm}^2$$

$$1 \text{ kgf/cm}^2 = 98,066.5 \text{ Pa} = 98 \text{ KPa} = 0.098 \text{ MPa}$$

(9) 水の重さ (常温 4℃)

$$1 \text{ cc (1 cm}^3\text{) の重さ} \rightarrow 1 \text{ gf [1 gf/cm}^3\text{]}$$

$$1 \text{ l } " \rightarrow 1,000 \text{ gf} = 1 \text{ kgf [1 kgf/l]}$$

$$1 \text{ m}^3 \text{ } " \rightarrow 1,000 \text{ kgf} = 1 \text{ tf [1 tf/m}^3\text{]}$$

【参考－1】国際単位 (S I 単位) について

国際単位系 (S I) とは、メートル系単位やヤード・ポンド系単位を国際的に統一する作業が世界的に進められており、この統一単位系が S I 単位である。この語源は、フランス語の Systeme International d'Unités の頭文字をとったもので、日本語の正式名称は“国際単位系”と呼ばれ、その正式略称は、“SI” (エスアイ) と呼ばれている。

S I の内容は、メートル系の MKS 単位系を拡張した単位系などで、我が国の場合は計量法により昭和 34 年からメートル系単位を使用しているので問題は少ないが、力、圧力、応力などの重力系単位で用いる kgf (力の単位の重量キログラム)、kgf/cm<sup>2</sup> (圧力の単位の重量キログラム毎平方センチメートル) などの S I でない単位を、S I 単位では、力の場合、これに“ニュートン”という呼び名を与え、記号を [N] とした。また、圧力は面積あたりの力であるから、S I 単位では、“ニュートン毎平方メートル [N/m<sup>2</sup>]”であるが、これに“パスカル”という名を与え、記号を [Pa] とした。

S I 単位への切り替え換算率表

力	N	kgf	圧力	Pa	kgf/cm <sup>2</sup>
	1	1.01972×10 <sup>-1</sup>		1	1.01972×10 <sup>-5</sup>
	9.80665	1		9.80665×10 <sup>4</sup>	1

(注) 1 Pa = 1 N/m<sup>2</sup>